



要 望 書

生コンクリート価格の値上げ
への対応について

(一社) 山梨県建設業協会

平素は山梨県建設業協会の活動に対し、ご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大は、繰り返し発生する新たな変異株などにより依然衰えを見せず社会経済活動が停滞する中、山梨県県土整備部におかれては、公共事業予算の確保や適正な工事執行に努めていただき、これまで私ども県内建設業界においては大きな影響を受けることなく、順調に受注工事の進捗が図られていることは、県当局のご尽力の賜物と厚く感謝申し上げます。

一方、長引くコロナ禍の影響は製品や資材の生産停滞や物流網の混乱を引き起こし原油価格の高騰も重なり、ここにきて物価の上昇が顕著になってきております。

このような背景のもと、先般、山梨県内の3つの生コンクリート協同組合より、セメントや骨材の供給業者からの原材料価格の値上げを理由に、会員企業に対し令和4年4月1日からの生コンクリート価格の大幅な値上げの通知がありました。

生コンクリートは土木・建築構造物を構築する上で、代表

的な資材であるため、この価格上昇は工事の採算性やさらには経営面への影響も大きく、会員企業からも懸念する声が多く聞かれております。

私ども山梨県建設業協会としても、生コンクリート協同組合のおかれた状況は十分理解できることから、この度の値上げは「やむを得ない」ものと捉えておりますが、公共工事における設計単価は市場価格の調査後に反映されるため、その間の差額は受注者の負担となり、会員企業の多くは大手建設会社に比べ受注工事の利益率も低く、また経営基盤も脆弱な会社も多くあることから、値上げの影響を最小限に留めるべく経営の効率化にも努めて参りますが、今回の大幅な値上げは経営努力の限界を超えるものであります。

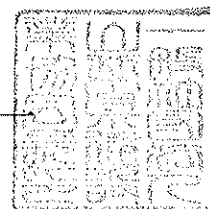
このため、山梨県当局におかれましては、4月以降の生コンクリート価格の改定について、市場価格調査の速やかな実施により実勢価格と設計価格の乖離期間が最短化され、受注企業が過大な負担を回避し、適正な利潤が得られるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和4年2月14日

山梨県県土整備部長

大儀 健一 殿

(一社) 山梨県建設業協会 会長 浅野 正一



副会長 佐々木幸一

副会長 桜井 義明

副会長 丹澤 淳人